

## 7. 武石ゼミ生：フォーラム全体の感想

### 岩瀬悠希

フォーラムに参加してくれた学生から、「意思を明確に持とう」「自分から伝えていこう」といった感想を聞くことができました。このように、社会に任せきりにするのではなく自ら動いていこうという意思を共に抱くことができたことをとてもうれしく思います。フォーラムの開催に向けて取り組んできて本当に良かったと思うと共に、さらに多くの学生にWLBを理解して欲しいと感じ、そのためには、このフォーラムの開催で終わらせるのではなく、もっと周囲に働きかけ、主体的に行動していこうと感じました。

### 海老澤梨奈

フォーラムを開催したいという思いから約半年間、長かった準備期間に比べて当日はあっという間でした。人生や働き方について考える上で、様々な人の意見や体験談を聞く、自らの意見を発信することが出来て良かったと思います。このフォーラムはゲストの方、当日来てくださった学生や社会人の方々といった多くの協力者がいなければ、こんなに大きなことは出来ませんでした。そう思うと、とても貴重な体験でした。本当にありがとうございました。

### 金聖裕

今回のフォーラムは自身のキャリアを見つめ直すきっかけを作ってくれました。アンケート分析や資料作りのなかで、今の大学生が思っていることが分かり、社会との壁が厚くのしかかっている現状が残念でなりません。多様な価値観を持つようになった現在ではワーク・ライフ・バランスは切っても切れない存在であり、きちんとしたキャリアビジョンを描くことによって、日本もどんどん明るくなっていくと思います。佐々木さんの基調講演やグループディスカッションも素敵でした。

### 小松洋介

このような自分たちが企画したフォーラムが実現するとは思いませんでした。開催に至るまではいろいろと大変でしたが、大学時代のいい思い出として残りそうです。フォーラム開催に協力してくれた方々、当日来場してくださった方々、そしてこんな自分を引っ張っていったくれたゼミのみんなや武石先生には本当に感謝しています。このような機会に恵まれて本当によかったと思います。

### 柴田貴実

準備は色々大変でしたが、参加者の方々に喜んでいただき良かったです。そして、基調講演、パネルディスカッション、グループディスカッションと自分にとっても有意義な時間を送ることができ、勉強となるフォーラムでした。今回の経験を社会に出てから役立てていきたいと思います。

### 鈴木麻子

今回のフォーラムの企画から運営に携わって、私が一番感じたことは、何か企画をするにあたっては、趣旨を明確化させることが本当に重要であるということです。

私たちも企画を始めた頃は、話し合っただけアイデアはたくさん出ても、結局まとまらないということが多々ありました。しかし、企画の方向性がしっかり定まると、そこからはスムーズに作業が進んだように思います。

直前の詰め込み作業は正直つらいものがありましたが、その分すばらしいフォーラムになったと思います。

### 竹島彩

このフォーラムは、WLBを実現するためには「互いの生き方を理解しあえる環境」「自分がどうなりたいか考える力」が必要だと気づくきっかけとなりました。

互いの生き方を理解しあえる環境をつくるためには、信頼関係をきちんと築くことが重要だと考えます。信頼関係を築くために、きちんと自分に期待されている成果を出せる人間になろうと思いました。

私は、WLBは義務を果たした上での権利だということをきちんと理解し、行動に移せるような社会人になりたいと考えます。

### 田澤沙織

佐々木常夫さんやパネルディスカッションに登壇してくださった方々のお話を聴き、WLBの意義を改めて確認できました。

佐々木さんのお話の中で「欲をもちなさい 欲が磨かれて志になる」という言葉がありましたが、自分の人生においても欲張りになることで、仕事や生活に目標ができ、WLBの実現につながるのだと思いました。

また、多くの学生とそれらの考えを共有することができたので、少しでも自分の将来を考えるきっかけとなっていたら嬉しいです。

## 友廣礼子

「わたしたちが変える働き方！」というタイトルはまだ社会に出ていない学生にとって、ハードルが高すぎたのではないかと思っていました。しかし、参加してくれた学生の基調講演、パネルディスカッションを聞く真剣な眼差し、またグループディスカッションで社会人の方と積極的に意見を交わしている姿を見て、そのような心配はいらなかったなと思いました。お忙しい中、学生のために集まってくれた社会人の皆さま、そして参加してくれた学生に、とても感謝しています。

## 中原香苗

40歳を過ぎてからの大学生活で、若い仲間がワクワク、ドキドキする貴重な体験を与えてくれました。今の若者は「夢がない、安定志向、行動力がない」などという言葉は、武石ゼミ生にはあてはまらないようです。迷いや不安を「何とかなるよ!」「とりあえず、今できることをやっちゃおう!」と行動で打ち消し、進んで困難な役割を引き受ける姿勢が、モチベーションを高め続けたと思います。多大な支援とプレッシャーを与えてくださった武石先生に深謝したいです。

## 野田奈央

ゼミ生として何をしたいのかを考えるという、まささらな中から始まったこの企画。知らぬ間に話が大きくなり、驚く暇もなかったただ一生懸命やっていました。その結果がこのような素敵なフォーラムになったことは、武石先生や周りの大人の方々の支えがあってこそ。心から感謝しています。また、フォーラムを通じて「働く」ということを考えるということの難しさを改めて実感したとともに、仕事と生活を両立していらっしゃる社会人の先輩方の話を聞いて、自分を省みるという貴重な経験もできました。自分の軸を持つことがどれだけ大切かを感じたフォーラムでした。

## 久松勇士

あるゼミ生の「大きなことをやりたい」という一言から始まったこのフォーラム。まさかこんなに立派で感動的なフォーラムになるとは思ってもいませんでした。ワーク・ライフ・バランスに関するフォーラムであるにも関わらず、知識が足りていなかった私たちに、武石先生は厳しくも温かくご指導くださいました。そのおかげで、ゼミ生は成長し、自分なりの意見を持つことが出来たと思います。

今回、このフォーラムに関わってくださった皆様に心より感謝を申し上げます。

### 山川友美

フォーラムを企画していた当初は、大きいことをしたいという目的で開始されました。しかし、このフォーラムは当初の計画よりも大きなものとなり、私は、大きく2つのことを学びました。1つめは、無理と思わずに行動に移すことです。この計画を考えながらも、本当にできるのかと思っていました。しかし、最後の会場のみなさんの拍手をいただいたときには、成功したという実感が湧きました。2つめは、様々な人の協力の力です。講演を引き受けてくださった佐々木さんを始め、たくさん方の協力を得てフォーラムが成り立ちました。そして、たくさん方の価値観を聞くことができたので、学べることもたくさんありました。自分自身もさらに学べ、たくさんの方にWLBを知ってもらえたので、よかったです。

### 吉井恵楠

思えば私たちゼミ生が自発的に始めたフォーラム運営にあたり、たくさんの方々にお世話になりました。武石先生を始め、東京都の方々、お招きした社会人の方々、アンケートを配ってくれた学校の方、回答してくれた学生462名の方々、4年生の先輩方など、お忙しい中多くの人に支えて頂いたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。この感謝の気持ちを、未来の「私たちが変える働き方」の原動力にしたいと思いました。

「ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。」

(武石ゼミ3年生一同)